月食管だより

いいにほんしょく

11月24日は 「和食の日」

2013年12月に

「和食:日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

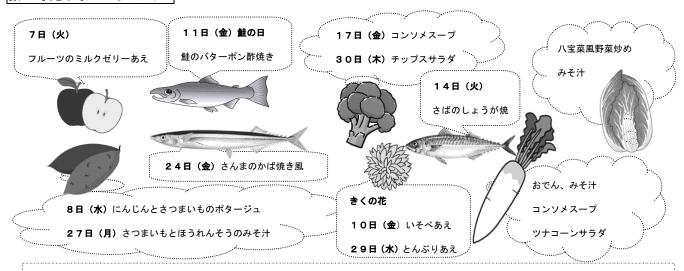
これは、単に「和食」というだけでなく、日本人が長い間食べ継いできた伝統的な食文化として の和食が登録され、世界に認められたのです。これには、正月などの年中行事とのかかわりや季節 感を楽しむという要素も含まれています。

《日本人の伝統的な食文化:4つの特徴》

- 1 多様で新鮮な「食材」とその持ち味の尊重
- 2 「栄養」バランスに優れた健康的な食生活
- 3 自然の美しさや「季節」のうつろいの表現
- 4 正月などの「年中行事」との密接なかかわり



秋の味覚を楽しみましょう! 11月の給食も季節の食材を取り入れています。旬の味を楽しみましょう!



おから入り松風焼き 給食レシピ 10月5日(木)の給食で食べました。

<材料4人分>

- 鶏ひき肉 200g
- ・おから 50g
- ・玉ねぎ 80g
- ・しょうが 5g
- ・みそ 20g
- III 1 個
- 砂糖 10g
- ・しょうゆ 8g
- 白すりごま 5g
- ・白いりごま

く作り方>

- ① たまねぎをみじん切りにする。しょうがは皮をむいてすりおろす。卵は割りほぐしておく。
- ② ボウルに鶏ひき肉、おから、玉ねぎ、しょうが、みそ、卵、砂糖、しょうゆ、白すりごまを合 わせ、粘りが出るまで混ぜ合わせる。
- ③ オーブンの天板にクッキングシートを敷き、②を2cmくらいの厚さになるように入れ、表面 をならす。表面にいりごまをまぶす。
- ④ 180℃のオーブンで20分ほど焼く。火が通っていることを確認して、加熱時間が足りないと きは、長めに焼く。焼き上がったら、粗熱をとって切り分ける。

「松風焼き」とは…肉のひき肉に卵などのつなぎと調味料を混ぜて型に入れ、ごまなどをちら し、天火などで焼いた料理。おせちにも用いられる。